

平成 24 年 11 月 7 日

國會會議規則兩院通用

第一章 通則

第一條 會議ハ政府ノ休日ヲ除キ毎日午前九時ニ始リ午後四時ニ終ルモノトス但シ一議員演舌中ハ終會スルヲ得ス時宜ニ依リ議長ハ時期ニ至ルモ仍ホ終會セサルコトヲ得

参照

獨逸 通常議院ノ會議ハ午前十時ニ始メ午後四時ニ終ルモノトス但シ急ヲ要スル議事アルトキハ朝會ヲ為スコトアリ

伊太利 通常ハ耶蘇降誕祭、耶蘇再生祭ヲ休日トス時トシテハ戒肉祭ヲ休日トスルコトアリ

葡萄牙 上院ノ會議ハ午後二時ニ始メ三時間繼續スルモノトス
下院ハ日曜日、公表日ヲ以テ休會トス別ニ議長ノ意ニ依リ毎週一日ノ休會ヲ為シ委員ノ會議ニ充ツ

下院ノ開議ヲ午後十二時トス若シ此時間ニ際シ議員會議ヲ開クニ必要ナル員數ニ満たサル時ハ午後一時ニ於テ其員數ヲ計算シ然ル後ニ會議ヲ始ムルヲ通常トス

日々ノ集會ヲ五時間トス然レドモ議院ノ決議ニ依リテ之ヲ延ハスコトアリ且ツ一議員若クハ各省長官演説ヲ為シ其局ヲ結ハント欲スル場合ニ於テハ終會ノ時期ニ至ルモ尚ホ終會セサルコトアリトス

議院ノ決議ニ依リ同日ニ晝會及ヒ夜會ヲ為スコトアリ

議院終會ノ時ニ至ルモ議員或ハ政府ノ委員演舌中ニシテ其全局ヲ終ランコトヲ請求スルトキハ終會スルヲ得ス

西班牙 兩院ノ會議ハ政府ノ休日ヲ除キ日々四時間ニシテ議長其時間ヲ定ム

議長ハ恣ニ會議ノ終局ヲ告ルヲ得ス

但シ議場静肅ナラスシテ終局セサルヲ得サル場合ハ此限ニアラス

佛蘭西 通常公會ノ時間ハ午後二時ニシテ會議ハ四時間ヲ越エサルヲ通例トス

兩院ハ通常日曜日水曜日ヲ休暇トス上院ハ屢々日水兩曜日ノ他ニ休會スルコトアリ

政府ノ委員演舌ヲ為シ其演舌ニ對シテ議員ノ答議ヲ結了スル迄ハ終會スルヲ得ス

第二條 議員ノ席次ハ毎年開會ノ始ニ於テ豫メ闡取ヲ以テ之ヲ定メ每會定席ニ着クヘシ但シ皇族ノ議官ハ此限ニアラス

第三條 議員全數ノ過半數出席セサレハ會議ヲ為サハルモノトス

参照

- 伊太利 議員全數ノ過半數出席セサレハ會議ヲ為サハルモノトス
議長ハ必要ナル定員ノ出席スルヤ否ヲ注視スルノ義務ヲ負ハス然レ
トモ議員十名之ヲ請求スルトキハ此限ニアラス
- 葡萄牙 午後一時ニ至リ開議ニ必要ナル議員ノ員數ニ満たサルトキハ
當日ノ會議ヲ為サス
下院ニ於テハ全議員三分ノ一上院ニ於テハ十九名出席スルトキ議長
ハ鈴ヲ鳴ラシ開會ヲ表ス
- 丁抹 下院ニ於テ會議ヲ開クニハ議員全數ノ過半數出席スルヲ要ス
- 瑞西 兩院共ニ議員全數ノ過半數出席スルニアラサレハ會議ヲ為スヲ
得ス

第四條 議長ハ毎日例時ニ於テ會議ヲ始メ政府ノ傳達及要用ノ報告ヲ為シ次
ニ當日ノ會議ヲ始ムヘシ

當日會議ヲ始ムルニ際シ先ツ議員ヲ數ヘ必要ノ員數着席スルヤ否ヲ檢定ス
ルモノトス

但シ報告ヲ為スニハ必シモ定員ヲ要セス

参照

- 葡萄牙 議長ハ會議ノ始ニ於テ全議員ノ姓名ヲ呼ビ必要ノ定員出席ス
レハ直チニ會議ヲ始ム若シ定員ニ不足アリテ一時間ノ猶豫ヲ為スモ
尚ホ欠員アル時ハ當日ノ會議ヲ止ム
議長ハ議院ニ送付セラレタル諸書類ヲ請取り會議ノ始ニ之レヲ議員
ニ報道ス
- 奧地利匈牙利 開會ノ始ニ於テ議長ハ前日ノ會議日誌ヲ朗讀セシメ其
誤謬ヲ訂正シ再讀セシメ以テ之ヲ確認ス
議長ハ會議ヲ始ムルノ前ニ於テ政府他院若クハ委員ノ傳達ヲ請取ル
モノトス
當日會議ヲ始ムルニ際シ議長ハ會議ヲ為スニ必要ナル出席員ノ數ヲ
檢ス
- 白耳義 當日會議ノ始半時間ニ出席簿ヲ供ヘ議員ヲシテ記名セシメ會
議ヲ始ムルニ際シ議長ハ其人名簿ヲ檢視シ直チニ會議ヲ開クモノト
ス又開會ニ先チ人名簿中ニ記名セサル議員ノ姓名ヲ呼ハシムルコト
アリ
- 佛蘭西 議長ハ會議ノ始ニ於テ出席シタル議員ノ定數ニ充ルヲ檢定シ
テ會議ヲ開キ書記官ヲシテ前日ノ議事録ヲ朗讀セシムルモノトス
議長ハ會議ヲ始ムルノ前ニ於テ議院ニ關係アル傳達ヲ報道ス

伊太利 議長ハ會議ノ始ニ於テ前日ノ筆記ヲ朗讀セシメ且ツ政府ノ傳達及ヒ要用ノ報告ヲ為スモノトス

第五條 一旦始メタル會議ハ必要ノ員數ニ缺員アルヲ發覺スルマテハ之ヲ繼續スルモノトス其一旦決議シタル後ニ於テ其決議ニ係ル會議ノ缺員アリシヲ發覺スルモ仍ホ決議ノ効ヲ妨ケス

参照

英國 下院ニ於テハ一旦始メタル會議中定數ノ議員ニ欠員ヲ生スルモ之ヲ覺知スル迄ハ其會議ヲ繼續シ其既ニ決了セシ議案ハ仍ホ決議ノ効ヲ妨ケス

第六條 書記官ハ毎日會議ノ終ニ於テ當日會議ノ次第並ニ議事ヲ筆記シ二十四時間議員ノ檢閲ニ供ヘ議員中若シ右筆記ニ付不同意ノ廉アルトキハ其修正ヲ議長ニ請求スルコトヲ得議長其請求ヲ適當ト認ムルトキハ即チ之ヲ修正ス若シ二十四時ヲ過キ異論者ナキトキハ正當ナルモノト認定シ議長ノ認印ヲ得テ直チニ之ヲ印刷ニ付シ議員ニ配布ス

議長若シ議員ノ請求ニ不同意ナルトキ其議員ハ次會ニ於テ動議ヲ起シ其當否ヲ衆議ニ問フコトヲ得此場合ニ於テハ互ニ討論スルヲ許サス唯起立ヲ以テ可否ヲ決ス但シ主任書記官ハ一應筆記ノ正當ナルヲ辨明スルヲ得前項異議ノ議員次會ニ於テ動議ヲ為サハルトキハ其請求ヲ取消シタルモノト看做シ議長ノ認印ヲ以テ正當ナルモノトス

参照

奧地利匈牙利 當日會議ノ詳細ハ主任ノ官吏之ヲ筆記編成シ二十四時間之ヲ議員ノ檢閲ニ供ヘ議員若シ修正セント欲スル廉アルトキハ之ヲ議長ニ申告シ議長若シ其修正ヲ拒ムトキハ議員ハ次會ニ於テ之レカ動議ヲ起スモ妨ナキモノトス議長若シ該筆記ヲ適當ト認ムルトキハ議長及ヒ書記官二名共ニ之レニ記名シ以テ印刷ニ付シ之ヲ議員ニ配布ス

白耳義 會議ノ前半時間ニ於テ前日ノ議事筆記ヲ議員ノ檢閲ニ供ヘ議員ハ筆記ノ誤謬ヲ訂正スルヲ得若シ議員ニ於テ議事筆記ニ誤謬アリト認定スレハ書記官ハ必要ノ説明ヲ為スカ為メニ演說ヲ為スヲ得若シ議院ニ於テ議員ノ修正ヲ是認シタルトキハ當日ノ會若クハ次會ニ於テ其修正筆記ヲ提出ス

第七條 凡ソ一議案會議ノ日時定リタルトキ各議員ニ於テ發議ヲ為サント欲スルモノハ少クトモ一時間會議ノ前ニ於テ議長席ニ設ケタル用紙ニ自分ノ姓名番數ヲ自署シ賛成若クハ反對ノ二字ヲ肩書スヘシ會議ノ節ハ書記官ヲシテ之ヲ朗讀セシメ署名ノ順序ニ從ヒ發言スルモノトス但シ書記官ニ於テ可成反對者隔次ニ演舌スヘキ様順序ヲ定メ置クヘシ

参照

奥地利匈牙利 一議案ニ付發議セント欲スル議員ハ會議ノ當日開會ノ前ニ當リ自ラ發議セント欲スル旨ヲ議長ニ通知シ且ツ其議案ニ付反對、賛成ノ孰レカヲ申告セサルヘカラス而シテ議長ハ會議ノ始ニ際シ自ラ議員ノ申告ヲ朗讀スルモノトス

議員ハ日誌ニ記載セル姓名ノ順序ニ從ヒ發議ヲ始ム但シ其發議ヲ為スハ反對者ヨリ先ツ之ヲ始メ反對者賛成者隔次ニ演舌スヘキ様其順序ヲ定ムルモノトス

佛蘭西 書記官ハ發議セント欲スル議員ノ姓名ヲ記スルモノトス
議案ノ賛成者并ニ反對者ハ隔次ニ討議ヲ為スモノトス

伊太利 議員ハ其誰タルヲ問ハス議長ノ許可ヲ得スシテ發言スルヲ得ス故ニ發言セント欲スル議員ハ議長席ニ於テ其姓名ヲ書記セサル可カラス而メ賛成者ト反對者トヲ隔次ニ書記シ其順序ニ從フテ發議セシムルモノトス

葡萄牙 發議ヲ為サント欲スル議員ハ賛成若クハ反對ノ孰レカヲ豫メ申告セサルヘカラス

一議案ニ付議員ハ賛成者ト反對者ト隔次ニ發言スルモノニシテ反對者ヨリ之ヲ始ム

第八條 凡ソ議員自分發議ノ順番ニ當ル時ハ他ノ議員ニ發議ノ權利ヲ譲リ又ハ全ク自分發議ノ權利ヲ放棄スルコトヲ得又其順番ニ當リ議長ヨリ其議員ヲ呼フ時缺席シテ之ニ應セサルモノハ該發議ノ權利ヲ失フモノトス

参照

奥地利匈牙利 本條ニ同シ

第九條 凡ソ議員發議セント欲スルモノハ先ツ其所ニ起立シ議長ニ向ヒ演舌スヘシ一人演舌中他員發言スルヲ得ス但シ演舌者ノ犯則ヲ注意スルハ此限ニ在ラス

参照

匈牙利 一人演舌中ハ他員之レヲ中断スルヲ得ス但シ發議者ノ演舌議題外ニ渉ルヲ以テ議長ノ之ヲ注意スルハ此限ニアラス

和蘭、白耳義 一議員演説中ハ他員發言スルヲ得ス但シ演説者ノ犯則ヲ注意スルハ此限ニアラス

西班牙 一人演舌中ハ他員發言スルヲ得ス

米利堅 發議セント欲スル議員ハ議長ニ向テ其請求ヲ為シ議長ノ許可ヲ得タル後其演舌ヲ為スモノトス

第十條 凡ソ議員ハ一會一問題ニ付再度發言スルヲ得ス其誤解ヲ辨明シ及ヒ動議者他員ノ質疑ニ答フルハ此限ニアラス

参照

匈牙利 議員ハ議案総体ノ討議ニ付再度発言スルヲ得ス第二讀會ノ逐條議ニ於テモ亦然リトス但シ特別ノ場合ハ此限ニアラス

白耳義 議員ハ一會一問題ニ付再度発言スルヲ得ス但シ規則ヲ辨明シ若クハ自己一身ノ事ヲ答辨スル為メ発言ヲ許サル、モノハ此限ニアラス

丁抹 委員報告者政府ノ書記官及ヒ一箇人ヨリ提出セル議案ノ場合ニ於テハ發議者ノ外一會一問題ニ付再度発言スルヲ得ス但シ議院ノ許可ヲ得ルモノハ此限ニアラス

伊太利 議員ハ其誰タルヲ問ハス一問題ニ係リ一度以上発言スルヲ得ス他員ノ質疑ニ答ヘ若クハ自己一身ニ付テノ發議ハ此限ニアラス

第十一條 内閣委員及ヒ各省長官ハ番外席ヨリ演舌シ委員報告者ハ委員席ヨリ演舌ス番外席委員席ノ發言者ハ順序ニ係ラス何回ニテモ発言スルコトヲ得

参照

奧地利匈牙利 各省長官ハ何回ニテモ発言スルコトヲ得

佛蘭西 各省長官政府ノ委員及ヒ報告者反對賛成ノ席次ニ拘ハラス何時ニテモ発言スルヲ得

第十二條 番外席委員席ノ外ハ書面ヲ朗讀シテ演舌ニ換ユルコトヲ得ス

参照

奧地利匈牙利 委員ノ報告者ハ筆記シタル報告ヲ朗讀スルヲ得

各省長官ハ筆記ヲ朗讀シテ演舌ニ代フルコトヲ得其他ノ議員ハ朗讀ヲ以テ演舌ニ代ルコトヲ得ス

匈牙利 發議セント欲スル議員ハ筆記ヲ朗讀シテ發言ニ代フルヲ得ス

丁抹 議員ハ筆記ヲ朗讀シテ演舌ニ代フルコトヲ得

第十三條 凡ソ議員ノ演舌議場ノ問題外ニ涉ルトキハ議長之ヲ制シテ問題ニ引戻サシメ若シ再度ノ制止ヲ用ヒサルトキハ該問題ノ議決ニ至ルマテ其演舌ヲ禁止スルコトヲ得此場合ニ於テ議員不服アルトキハ討論ヲ用ヒス直ニ議場ニ問ヒ起立ヲ以テ可否ヲ決ス

参照

匈牙利 議員ノ演説議場ノ問題外ニ涉ル時ハ議長之ヲ制止シ本問題ニ引戻サシメ議長ノ注意ヲ用ヒサルコトニ及フ議員ニハ其演舌ヲ中止セシム

西班牙 議長ハ議題外ニ涉ル議員ノ演説ヲ制止シテ之ヲ本議題ニ復セシム

奥地利匈牙利 議員ノ演舌議場ノ問題外ニ涉ルトキハ議長之ヲ制シテ
本問題ニ引戻サシム若シ再度ノ制止ヲ用ヒサルトキハ本問題ノ決議
ニ至ル迄其演説ヲ禁止スルコトヲ得

白耳義 議員ノ演説議場ノ問題外ニ涉ルトキハ議長ノミ之ヲ制止スル
ノ権アリ若シ議員再度ノ制止ヲ用ヒサレハ議長ハ議院ニ問ヒ該問題
ノ決議ニ至ル迄其演説ヲ禁止スルヤ否ヤヲ決スルモノトス

第十四條 凡ソ議員ノ演舌法律規則ニ觸ルハトキハ議長直ニ之ヲ制止ス

参照

匈牙利 議員若シ道德ニ戻リ議院ノ体面ヲ汚スヘキ發言ヲ為ストキハ
議長直チニ之ヲ制止ス

奥地利匈牙利 議員演舌ノ事柄道德ニ悖リ法律規則ニ背クトキハ議長
直チニ其演説ヲ禁止ス

獨逸 議員ノ演舌規則ニ觸ルハトキハ該議員ノ姓名ヲ呼テ之ヲ禁止ス

第十五條 前二條ノ制止ヲ受ケ猶發言ヲ止メス又ハ粗暴ノ舉動アルモノハ一 時議場外ニ退去セシムルコトヲ得

参照

匈牙利 二回前途ノ制止ヲ受ケ尚ホ發言ヲ止メサルトキハ演説ヲ禁止
ス

佛蘭西 議長ノ制止ニ抵抗スル者議長ニ對シテ粗暴ノ舉動ヲ為ス者等
ハ一時議場外ニ退去セシム

第十六條 一議員ニ於テ他議員ノ演舌問題外ニ涉ルト思量スルカ又ハ法律規 則ニ觸ルハト思量スルトキハ之ヲ議長ニ注意スルコトヲ得

参照

葡萄牙 議員ノ演舌議場ノ問題外ニ涉ルモ議長之ヲ制止セサル時ハ議
員ヨリ之ヲ注意スルヲ得

西班牙 一議員ニ於テ他議員ノ演舌問題外ニ涉ルト思量スル時ハ之ヲ
注意スルヲ得

第十七條 凡ソ會議討論中議員ニ於テ討論充分ナリト認ムルトキハ五人以上 ノ同意者ヲ得テ討論終局ノ動議ヲ提出スルコトヲ得此場合ニ於テ議長ハ直 ニ終局ノ可否ヲ衆議ニ問フ衆議員ハ此動議ニ付討論スルヲ得ス只起立ヲ以 テ可否ヲ表スヘシ衆議可ト決スルトキハ兼テ發言ノ權利ヲ得タル議員中反 對論者双方ニ於テ各々一人ヲ選ミ終局ノ演舌ヲ為シ直ニ議場ニ在ル問題ノ 可否ヲ決スヘシ

参照

和蘭 討論終局ノ動議ハ五人以上ノ同意者ヲ得テ之ヲ提出スルコトヲ
得此場合ニ於テ議長ハ終局ノ可否ヲ直チニ衆議ニ問フ衆議員ハ此動
議ニ就キ討論スルヲ得ス起立ヲ以テ可否ヲ表シ議長ハ其名ヲ呼フ
奧地利匈牙利 討論終局ノ動議ハ議長之ヲ衆議ニ問ヒ討議ヲ為サス
討論終局ノ動議ハ上下兩院ニ於テ何時タリトモ之ヲ提出スルヲ得而
シテ之ヲ決スルハ議員ノ多數決ニ依ル衆議可ト決スル時ハ議員中反
對論者雙方ニ於テ各一人ヲ撰ミ終局ノ演説ヲ為スモノトス
佛蘭西 議院総体討論ニ勞シ議員ノ演説ヲ中止センコトヲ望ムトキハ
一人若クハ一人以上ノ議員ヨリ終局々々ト連呼ス然ルトキ議長ハ直
チニ終局ノ可否ヲ議院ニ問フ若シ少數中ノ議員ニ於テ演舌センコト
ヲ欲スルトキハ終局ヲ不可トスルノ理由ヲ陳フルコトヲ得然レトモ
終局動議ノ賛成者ハ演舌スルヲ得ス

第十八條 凡ソ討論終局ヲ可決スルトキハ反對者双方ヨリ撰ミタル論者ノ外
ハ發言スルノ權ナシトイヘドモ内閣委員若クハ各省長官起立シテ演舌ヲ為
ストキハ更ニ討論スルヲ得

参照

奧地利匈牙利 凡ソ討論終局ヲ可決シタル後ト雖政府ノ委員起立シテ
演説ヲナストキハ更ニ討論ヲ始メタルモノト認ム

第十九條 凡ソ議員中行政司法ノ事務ニ付主任ノ各省長官ニ疑問ヲ爲サント
欲スルモノハ十名以上ノ連署ヲ以テ主意書ヲ具ヘ議長ニ差出スヘシ議長ハ
次ノ會議ニ於テ疑問ヲ許スヘキヤ否ヲ衆議ニ問ヒ可ト決スルトキハ直ニ之
ヲ該長官ニ通知シ該長官ハ之ニ答議ヲ爲スヘキ日ヲ定メ議長ニ通知シ或ハ
答議ヲ肯セサルトキハ答議ヲ爲スヘカラサルノ理由書ヲ具ヘ議長ニ通知ス
ヘシ

参照

奧地利匈牙利 各省長官ニ疑問ヲ爲サント欲スル議員ハ上院ニ於テ十
名下院ニ於テハ十五名以上ノ連署ヲ以テ主意書ヲ具ヘ議長ニ差出ス
ヘシ議長ハ之ヲ疑問ヲ受ケタル長官ニ直送ス該長官ハ直チニ之カ答
辨ヲ為シ或ハ答辨ヲ為ス日ヲ定ム答辨ヲ為サ、ル場合ニ於テハ其理
由ヲ通知スルモノトス

丁抹 議員若シ一議題ヲ提出シテ某省長官ノ説明ヲ得ント欲スレハ其
主意書ヲ具ヘ之ヲ議長ニ差出スヘシ議長ハ之ヲ議員ニ通知シ次會ニ
於テ其取捨ヲ議院ニ問フ若シ議員ニ於テ之ヲ賛成シタルトキハ議長
ヨリ其疑問ヲ該省長官ニ通知シ其質問答議ヲ為スヘキ時ヲ定ム

第二十條 國會兩院ニ於テ各省長官ノ答議若クハ答議ヲ爲サ、ル理由書ニ對シ満足セサルトキハ衆議ヲ以テ意見書ヲ具ヘ太政大臣ヲ經テ上奏スルコトヲ得本條ノ議ハ兩院協同シテ爲スモ各院別個ニ爲スモ妨ヘナキモノトス

第廿一條 凡ソ議員政府ニ對シ建議ヲ爲サンカ爲メ議院ノ決議ヲ得ント欲スルモノハ議案并ニ主意書ヲ具ヘ十人以上ノ同意者連署シテ議長ニ呈ス可シ議長ハ内閣議案決了ノ後之ヲ會議ニ付ス

参照

白耳義 議員ノ建議四人以上ノ同意者ヲ得ルトキ議長ハ此建議ノ取捨ヲ議場ニ問ヒ以テ之レヲ決ス

第廿二條 凡ソ動議者ハ其問題ノ未タ決了セサル間ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

参照

白耳義 凡ソ動議者ハ其問題ノ未タ結了セサル間ハ何時ニテモ之ヲ取消スヲ得但シ更ニ他議員ノ同動議ヲ發スル時ハ更ニ之ヲ議スルモノトス

佛蘭西 凡ソ動議者ハ其問題ノ已ニ議題トナリタル後ニ於テモ之レヲ取消スコトヲ得若シ他議員ノ同問題ヲ發スル時ハ更ニ之レヲ議スルモノトス

獨逸 凡ソ動議ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得但シ他議員ニ於テ再ヒ同一ノ動議ヲ為スモ妨ケナシトス

第廿三條 凡ソ議員ノ動議當日會議ノ問題外ナルモノハ即日討論ヲ爲スヲ得ス

第廿四條 議場騒シクシテ靜肅ナラサルトキハ議長ニ於テ一時會議ヲ中止シ又ハ全ク當日ノ會議ヲ終ルコトヲ得

参照

丁抹、匈牙利 本文ニ同シ

西班牙 議場騒擾ナル場合ニ際スレハ議長ハ之ヲ鎮定スルニ必要ナル方法ヲ施スノ權ヲ有ス

議場騒シクシテ之ヲ制止スルコト能ハサレハ議長ハ當日ノ會議ヲ閉ヅ

白耳義 議場靜肅ナラサルトキハ議長ニ於テ一時會議ヲ中止スルノ状ヲ示シ猶ホ鎮定セサルトキハ一時間會議ヲ中止シ議員ヲシテ各部ニ退カシメ時間經過ノ後更ニ會議ヲ始ルモノトス

葡萄牙 議場騒シクシテ議長之ヲ制止スルコト能ハサレハ議長ハ三回鳴鈴シテ帽ヲ被リ一時ノ中止ヲ表ス

第廿五條 會議ヲ決スルノ方法ハ起立ヲ以テシ又ハ秘密投票ヲ以テ之ヲ定ム
其方法ハ議長ニ於テ之ヲ定ムト雖トモ議員十名以上ノ請求アルトキハ議場
ニ問ヒ其決スル所ニ從フ

第廿六條 凡ソ議員會議ノ規則ニ悖リ議長ノ制止ニ遵ハス犯則ノ處分ヲ受ケ
タルモノハ左ノ三等ニ分チ懲戒ヲ受ク

第一 制止セラレタル事件并ニ其姓名ヲ日記ニ登録ス

凡ソ一回演舌禁止ヲ受ケタルモノ此懲戒ヲ受ク

第二 姓名并ニ譴責ヲ日記ニ登録ス

凡ソ二回演舌禁止ヲ受ケタルモノ若クハ一回議場外ニ擯斥セラレタルモ
ノハ此懲戒ヲ受ク

第三 懲戒姓名ヲ日記ニ登録シ并ニ日當七日ノ罰金ヲ科ス

凡ソ三回演舌禁止ヲ受ケタルモノ若クハ二回演舌禁止及ヒ一回ノ議場擯
斥ヲ受ケタルモノ等ハ此懲戒ヲ受ク

参照

佛蘭西 議員ノ規則ニ戻リタル場合ニ於テハ左ノ方法ニ依リ之ヲ處分
ス

第一 注意

議題外ニ渉ル演舌ヲ為シ并ニ議場ヲ騷シタル者之レニ當ル

第二 注意并ニ姓名ヲ日記ニ登録スルコト

一回注意ヲ受ケタル者之レニ當ル

第三 二週間分ノ俸給ヲ沒收スルコト

二回ノ注意ヲ受ケタル者之ニ當ル

第四 譴責

注意并ニ姓名ヲ日記ニ登録セラレタル後議員ノ規則ニ背ク者三十
日間ニ三回ノ注意ヲ受ケタル者議場ノ騷擾ヲ扇動シ徒党シテ議院
ノ事務ヲ妨クル者議員若クハ政府ノ委員ヲ侮辱シタル者之ニ當ル

第五 譴責并ニ一時院外ニ退カシムルコト

尋常ノ譴責ニ從ハサル者全議院ノ一部若クハ議長ニ對シテ暴行ヲ
為シタル者大統領元老院若クハ政府ニ對シテ暴行ヲ為シタル者之
レニ當ル

第二章 議案議定ノ順序

第廿七條 內閣ヨリ下付ノ議案ハ第一ニ議定シ他院ヨリ回付ノ議案ハ第二ニ
議定ス

参照

奧地利匈牙利 內閣ヨリ下付ノ議案ハ第一ニ議定シ他院ヨリ送付ノ議
案ハ之レニ次ク但シ已ニ討議中ノモノハ此限ニアラス

那威 内閣ヨリ下付セラレタル議案ハ必要ナル場合ニ限り他議案ノ討
議中ト雖モ先ツ之レヲ議スルコトアリトス

第廿八條 前條ノ議案ヲ決了スルマテハ他ノ議事ヲ爲スヘカラス

第廿九條 前條ノ議案ハ賛成者ヲ要セス直ニ議場ノ問題ト爲ス

参照

奧地利匈牙利 政府若クハ他院ヨリ回付ノ議案ハ賛成者ヲ要セス若シ
之レヲ廢斥セント欲スルモ先ツ之ヲ討議セサルヘカラス

第三十條 凡ソ議案ハ必ス三讀會ヲ經ルモノトス

参照

奧地利匈牙利 凡ソ議案ハ非常ノ場合ヲ除キ通常三讀會ヲ經ルモノト
ス

獨逸、米利堅、丁抹 凡ソ議案ハ必ス三讀會ヲ經ルモノトス

佛蘭西 至急ノ事件ヲ除キ諸議案ハ二讀會ヲ經ルニアラサレハ決議ス
ルコトナシ但シ各讀會ノ間ハ五日以上ニシテ豫算及ヒ會計ニ関スル
モノ一地方若クハ一個人ニ関スル議案并ニ急ヲ要スルモノハ只一讀
會ヲ經ルモノトス

葡萄牙、和蘭、西班牙 凡ソ議案ハ二讀會ヲ經ルモノトス

第三十一條 凡ソ議案ハ之ヲ印刷シ各議員ニ配布ス

参照

葡萄牙、和蘭、丁抹 本條ニ同シ

佛蘭西 凡ソ議案ハ印刷シテ各議員ニ配布シ議長ヨリ之ヲ各部ニ送付
シ掛リ委員アル時ハ之ヲ該委員ニ送付ス

獨逸 總テノ議案并ニ議員ノ動議ハ議長ヨリ之ヲ各議員ニ配布ス

第三十二條 議案ヲ配布シタル時ヨリ四十八時間ヲ過キサレハ第一讀會ヲ開
クヲ得ス

参照

丁抹 本條ニ同シ

獨逸 議案配布ノ後三日以上ヲ過キサレハ第一讀會ヲ開クヲ得ス

佛蘭西 第一讀會ハ議案ヲ配布シタル後少クモ三日ヲ過キサレハ之ヲ
開クヘカラス

第三十三條 第一讀會ニ於テハ議案ノ主者先ツ議案ノ主旨ヲ辨明ス議員ハ只
其總體ニ付可否ヲ討論スルヲ得修正動議ヲ發スルヲ得ス

参照

西班牙、奧地利、匈牙利、葡萄牙、佛蘭西、丁抹 第一讀會ニ於テハ議
案ノ總體ニ就テノミ可否ヲ討論スルヲ得ルモノトス

獨逸 第一讀會ニ於テハ議案ノ總體ニ就テノミ之レヲ討論スルヲ得修
正說ヲ發スルヲ得ス唯本議案ヲ委員ニ附ス可キヤ否ヤヲ議決ス

和蘭 第一讀會ニ於テハ只議案ノ總體ニ就キテノミ其可否ヲ討論ス然
レトモ議案ノ要部ニ就キテハ各個ニ之ヲ討論スルノ場合アリトス

第三十四條 第一讀會ニ於テ總體可ト決シタル議案ハ直ニ之ヲ常置委員若ク
ハ臨時委員ニ付ス其否ト決シタルモノハ理由ヲ付シテ内閣ニ返呈シ又ハ他
院ニ返付ス

参照

獨逸 第一讀會ニ於テハ議案ヲ委員ニ付スヘキヤ否ヲ討議ス

第三十五條 議長ハ委員ノ報告ヲ受ケ之ヲ議員ニ配布シ并ニ第二讀會ノ日時
ヲ報知ス但シ議案配布シタル時ヨリ少クトモ二十四時間ヲ過キサレハ第二
讀會ヲ開クヲ得ス

参照

奧地利匈牙利 委員ノ報告ヲ受ケ之ヲ各議員ニ配布シタル後下院ハ二
十四時間ヲ經上院ハ四十八時間ヲ經サレハ第二讀會ヲ開クヲ得ス

丁抹 第二讀會ハ第一讀會ノ後上院ニ於テ三日以上下院ニ在テ二日以
上經過セサレハ之ヲ開カス

獨逸 第二讀會ハ第一讀會ノ後二日ヲ過キサレハ之レヲ開クヲ得ス但
シ第一第二兩讀會ノ間ハ議員ノ議決ニ依リ其時日ヲ短縮シ若クハ同
時ニ之ヲ為スヲ得而シテ第二第三讀會ノ間モ議員十五名ノ反對者ア
ルニアラサレハ之ヲ短縮スルヲ得

第三十六條 第二讀會ニハ報告シタル委員最初ニ發言シ先ツ其報告ノ主意ヲ
辨明ス此時議長ハ報告議案ヲ以テ直ニ問題ト爲シテ審議スヘキヤ否ヤヲ議
場ニ問ヒ可ト決スルトキハ即チ報告議案ニ對シ討論ヲ開クヘシ

参照

奧地利匈牙利 第二讀會ニハ報告委員討論ノ端緒ヲ開キ報告ノ主旨ヲ
辨明ス右終テ議長ハ該報告書ヲ以テ直ニ問題ト爲スヘキヤ否ヲ議場
ニ問ヒ其可決ヲ得テ討論ヲ開クヘシ

第三十七條 前條ノ場合ニ於テ議員十人以上ノ同意ヲ以テ本案ヲ翌年ノ會議
ニ延サンコトヲ發議シ又ハ報告議案不充分ナルヲ以テ更ニ委員ニ付センコ
トヲ發議スルコトヲ得更ニ委員ニ付スルコトニ決議スルトキハ即最初委員
ニ付シタルト同様ノ手續ヲ經テ更ニ第二讀會ヲ開ク

参照

奧地利匈牙利 第二讀會中本議案ヲ延引シ又ハ再ヒ委員ニ付シ再修正
ヲ為サントノ動議ヲ為スコトヲ得但シ賛成者二十名以上アラサレハ

問題ト為スヲ得ス其再ヒ委員ニ付スルコトニ決スルトキハ最初ノ修正ト同様ノ手續ヲ以テ二讀會ヲ開クヘシ

凡ソ國會ニ於テハ議案ヲ廃棄スルヲ得ス但之ヲ一時延期シ他ノ議事ニ經過スヘシトノ動議ヲ為スヲ得ルノミ

第三十八條 凡ソ議案ヲ委員ニ付シタルトキ修正説アルモノハ修正ノ案ヲ具ヘ委員ノ參考ニ供スルコトヲ得

参照

佛蘭西 凡ソ修正説ヲ提出シタルモノハ必ス其案ヲ具ヘ先ツ議長ニ呈スヘシ議長ハ之ヲ委員ニ付ス

第三十九條 第二讀會ニハ各條ヲ審議ス各條ニ付修正ノ動議ヲ爲サント欲スルモノハ五人以上ノ同意者ヲ得テ發言スルコトヲ得

参照

丁抹、佛蘭西 第二讀會ニ於テ各條及ヒ修正説ヲ討議ス

阿蘭陀 凡ソ修正説ヲ提出スルモノハ五人以上ノ賛成者ヲ得サレハ議場ノ問題ト為スヲ得ス

獨逸 第二讀會ニ於テハ各條ヲ審議ス句々ノ修正ハ同意者ヲ得サルモ之ヲ發言スルヲ得

和蘭 第二讀會ニ於テハ各條ヲ審議ス其方法ハ條ノ順序ニ從フテ之ヲ議ス然レトモ某條ト某條ト相離隔スルモ互ニ密接ノ關係アルモノハ其順序ニ從ハサルコトアリトス

葡萄牙、奧地利匈牙利、西班牙 第二讀會ニ於テハ各條ヲ審議ス

第四十條 第二讀會中修正ノ箇條ニ付議長若クハ五名以上ノ發議ニ依リ議員ノ多數ヲ得テ討論ヲ中止シ修正ノ箇條ヲ更ニ委員ニ付シ調査セシムルコトヲ得

参照

佛蘭西 第二讀會ニ於ケル諸修正ハ報告者ノ請求スル場合ニ限り之レヲ委員ニ付シテ調査セシム

阿蘭陀 逐條審議中議長若クハ五名以上ノ動議ニ依リ一時會議ヲ中止シ調査セシムルコトヲ得政府ノ發議ニ係ル修正モ同様ノ手續ニ依ルコトヲ得

第四十一條 凡ソ修正説ヲ提出スルモノハ必ス案ヲ具ヘ之ヲ朗讀シ可決シタルトキハ之ヲ議長ニ呈スヘシ

参照

佛蘭西 凡ソ修正説ヲ提出スルモノハ必ス案ヲ具ヘ議長ニ呈シ議長ヨリ之ヲ委員ニ付スモノトス

第四十二條 第二讀會ニ於テ修正ノ箇條多キトキハ更ニ委員ニ付シ決議ノ條項ヲ整理シ首尾全備ノ議案ト爲シ更ニ第二讀會ヲ開クヘキモノトス

参照

佛蘭西 第二讀討論會ノ初提出シタル修正ハ悉ク委員ニ付シ調査セシムルモノトス

第四十三條 凡ソ議案第二讀會ヲ經過シタルトキハ次會ニ於テ第三讀會ヲ開クモノトス

参照

奧地利匈牙利 凡ソ議案ハ第二讀會ヲ經タル後通常第三讀會ヲ開クモノトス然レトモ議題ノ性質ニ依リ第二讀會ノ後第三讀會ヲ開クト開カサルトヲ議員ニ問フテ之レヲ決スルコトアリトス

丁抹 第三讀會ハ第二讀會ノ後上院ニ在テ三日後下院ニ在テ二日後ニ於テ之ヲ為スヘキモノトス

獨逸 第二讀會後少クモ二日ヲ經サレハ第三讀會ヲ開クヲ得ス但シ議員十五名ノ賛成者アルトキハ之ヲ減縮スルコトアリ

第四十四條 第三讀會ニ於テハ議案總體ノ可否ヲ決ス

参照

奧地利 第三讀會ニ於テハ議案總體ノ可否ヲ衆議ニ問ヒ起立ヲ以テ之ヲ決シ討論ヲ用ヒス必要ナル修正ノ口述スヘキモノハ討論ヲ許スコトアリ

第四十五條 第三讀會ニ於テハ番外席委員席若クハ議員十五名以上ノ賛成者アルニアラサレハ修正說ヲ提出スルコトヲ得ス但シ字句ノ誤謬ヲ正シ自家撞着ノ廉ヲ注意スルハ此限ニアラス

参照

丁抹 第三讀會ニ於テハ委員内閣大臣若クハ議員十五名（上院ニ在テハ八名）ノ同意者アルニアラサレハ修正說ヲ提出スルヲ得ス

獨逸 第三讀會ニ於テハ議員三十名以上ノ賛成者アルニアラサレハ修正說ヲ提出スルヲ得ス

第四十六條 第三讀會ノ修正ハ出席議員三分二以上ノ同意ニアラサレハ可決スルヲ得ス修正說可決シタルトキハ再ヒ委員ニ付シ議案ヲ整頓セシメ更ニ第三讀會ヲ開クモノトス

第四十七條 凡ソ内閣若クハ他院ノ送付ニ係ル議案ハ委員ノ報告書ヲ否決スルモ猶原案ニ向ヒ更ニ可否ノ決議ヲ要ス

参照

奧地利匈牙利 凡ソ内閣及ヒ他院ヨリ送付ノ議案ハ委員會ノ修正案ヲ廢スルモ猶其原案ニ向ヒ更ニ可否ヲ決ス

第四十八條 凡ソ至急ヲ要スル議案若クハ簡單ニシテ委員ノ審査ヲ要セサルモノハ第一讀會ノ後直ニ第二讀會第三讀會ヲ開クコトヲ得但シ之ヲ決スルハ議長若クハ議員五名以上ノ發議ニ依リ衆議ヲ以テ之ヲ決ス

参照

和蘭 議題ノ簡單ナルカ若クハ至急ヲ要スルモノナル時ハ報告會ノ後直ニ討議ヲ開クモノトス

葡萄牙 政府ヨリ議院ニ下付シタル法律ノ議案ニシテ總テ至急ヲ要スルモノハ第一讀會ノ後直チニ第二讀會ヲ開クコトヲ得ルモノトス

佛蘭西 急ヲ要スル議事ト雖必ス之ヲ委員ニ付スルモノトス

第三章 兩院協議

第四十九條 凡ソ兩院合同議定ノ法案ハ上院ヨリ上奏スルモノトス

参照

葡萄牙 兩院ヲ通過シタル議案ハ最後ニ通過シタル議院ヨリ七名ノ總代ヲ撰ミ之ヲ上奏スルモノトス

西班牙 兩院議定ノ議案ハ國王ニ上奏スルモノトス

那威 兩院ニ於テ議定シタル議案ハ上院ヨリ二名ノ代理ヲ撰ミ之ヲ國王ニ上奏セシム

第五十條 最初下院ニ於テ議定シタル議案上院ニ於テ修正ヲ爲サス可決シタルトキハ上院ヨリ直ニ之ヲ上奏シ其旨ヲ下院ニ通知ス

参照

奧地利 甲院ニ於テ議定シタル議案乙院ニ於テ修正ヲ爲サス可決シタル時ハ甲院ヨリ之ヲ内閣ニ送付シ國王ノ准許ヲ得ルモノトス

白耳義 兩院ニ於テ可決シタル議案ハ上院ヨリ直チニ國王ニ上奏セサルヘカラス

第五十一條 最初上院ニ於テ議定シタル議案下院ニ於テ修正ヲ爲サス可決シタルトキハ其旨ヲ以テ上院ニ返付ス上院ハ直ニ之ヲ上奏ス

参照

匈牙利 最初甲院ニ於テ議定シタル議案ヲ乙院ニ於テ可決シタル時ハ之ヲ國王ニ上奏ス

丁抹 最初上院ヲ經過シタル議案ヲ下院ニ於テ修正セサル時ハ下院議長ヨリ直ニ之ヲ内閣ニ送呈シ修正シタル場合ニハ上院ニ送付ス

佛蘭西 下院ニ於テ可決シタル議案下院議長ヨリ直ニ之ヲ掛リ長官ニ返付ス若シ一ヶ月ヲ經過スルモ掛リ長官ヨリ該議案ヲ上院ニ送付スルコトナケレハ下院議長ヨリ直ニ之ヲ上院ニ送付スルモノトス但シ至急ヲ要スル事件ハ三日後ニ於テ此手續ヲ爲スモノトス

第五十二條 凡ソ甲院議定ノ議案乙院ニ於テ修正ヲ爲シタルトキハ其修正議案ニ理由書ヲ付シ甲院ニ返付ス甲院ニ於テハ第一讀會ヲ用ヒス更ニ掛リ委員ニ付シ委員調査ノ報告ヲ得テ直ニ第二讀會以下規則ノ順序ヲ經テ議定ス本條甲院ノ議定乙院ノ修正議案ニ同意ナルトキハ直ニ上奏ノ手續ヲ爲スヘシ

参照

奧地利匈牙利 凡ソ甲院議定ノ議案乙院ニ於テ修正ヲ爲シタル時ハ其修正議案ニ理由書ヲ付シ甲院ニ還付ス

伊太利 甲院ヲ經過シタル議案ヲ乙院ニ於テ修正シタル時ハ乙院ヨリ之ヲ甲院ニ返付シ其協議ヲ終了スルニ至ル迄互ニ之ヲ議ス而シテ該議案ニ係リ兩院ノ協議已ニ成ル時ハ之ヲ國王ニ上奏ス

第五十三條 前條ノ場合甲院ニ於テ更ニ乙院ノ修正議案ニ再ニ修正ヲ爲シタルトキハ其再修正議案ニ理由書ヲ付シ復タ乙院ニ返付ス乙院ニ於テハ更ニ調査議定ヲ爲スコト前條ニ同シ

本條ノ場合乙院ニ於テ再修正案ヲ不可トシ猶修正ノ意見アルトキハ直ニ議定ヲ爲サス先ツ其旨ヲ甲院ニ通知シ兩院各々七名ノ協議委員ヲ選舉シ兩院ノ協議ヲ爲サシム

参照

白耳義 甲院ニ於テ乙院ノ修正ヲ不可トシ其意見ノ一致セサル時ハ双方ヨリ協議委員ヲ撰ミ之ヲ議定セシム

葡萄牙 甲院ニ於テ乙院ノ修正ヲ不可トシタルトキハ同數ノ委員ヲ撰ミ修正案ニ係ル討議ヲ為サシム而シテ委員ノ數ハ議事ノ性質ニ從ヒ五人乃至十二人トス

那威 下院ヨリ修正議案ヲ上院ニ送付スルコト二回ニ及ハ、上下兩院ノ總會議ヲ開キ三分二ノ同意ヲ以テ其議案ヲ決ス

第五十四條 兩院ノ協議委員ハ別室ニ於テ相談會ヲ爲シ各院ノ意見ヲ此照斟酌シ事情ヲ盡シ務メテ相讓容シテ可成兩院合同スヘキ修正案ヲ作り之ヲ各院ノ議長ニ報告ス

兩院議長ハ各其報告書ヲ議員ニ配布シ第二讀會以下規則ノ順序ヲ履ミ議定ス

第五十五條 協議委員ノ協議不調ノ時并ニ協議委員ノ報告シタル議案ニ對シ猶兩院ノ議合同セサルトキハ各院別個ニ其議定案ヲ上奏スルコトヲ得

出典：伊藤博文文書研究会監修（2011年）『伊藤博文文書 第五五卷 秘書類纂 議會一之四』ゆまに書房

参考：稲田正次（1960年）『明治憲法成立史 上巻』有斐閣 723～728頁。